

F-19 主婦の生活時間よりみたる家事労働(第1報) 主婦の生活時間
元増玉大 稻葉ナミ 東京学芸大 O大森和子 他14名

目的. 全国的な生活時間調査は, N H K放送学論調査所の35・40・45年のものがあるが, これには, 40年までは家事労働時間の内訳がなく, また, 主婦の職業の有無による分類がなかった。近年主婦の就労が非常に増え, 家族型の変化も著ろしいので, 生活時間を通して, 主婦の家事労働が現在どのように行なわれているかと, 種々の角度からみようとした。

方法. 調査対象地点は, 各県県庁所在地を含め, 大中小都市78都市にわたり, 別に46農村を選んだ。都市(人口5万以上)は総理府統計局(家計調査年報45年度)の都市のおよそ85%を無作為に抽出した。農村は東京都を除き, 北海道2地区, 各府県/地区ずつとした。調査は, 中学校を通して, 中学生の母親に調査票記入を依頼することとし, 調査校の選定は, 各県指導主事の師協力によった。都市はサラリーマン家庭のみを対象とし, 農村は農家と非農家に分類した。調査有効数は8714で有効率59.3%である。調査時期は46年10月である。

結果. 主婦の生活時間を, 調査対象数の最も多い中都市と, 農村とをあげると右のようである。

主婦の生活時間(平日)

調査対象数	中都市 サラリーマン家庭 (職業別)			農村	
	無職	町職(パート)	勤務	農家	非農家
生活時間	1,093	775	424	2,840	1,169
生理的					
睡眠	7 ^時 27 ^分	7 ^時 24 ^分	7 ^時 19 ^分	7 ^時 29 ^分	7 ^時 28 ^分
食事・身動	1. 54	1. 52	1. 54	1. 42	1. 49
労働					
42入のため 家事労働	0	5. 44	8. 23	7. 40	5. 45
	9. 04	5. 27	3. 37	4. 12	5. 27
社会的・文化的	5. 34	3. 34	2. 45	2. 57	3. 31
合計	24. 00	24. 00	24. 00	24. 00	24. 00